

製品名: MAPKAP キナーゼ 2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84119**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	46 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPKAP Kinase 2
別名	MAPKAP K2; MAPKAP kinase 2; MAPKAPK 2; MAPKAPK2; Mitogen activated protein kinase activated protein kinase 2; MK 2;;MK2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P49137
免疫原	ヒト MK2 由来の合成ペプチド

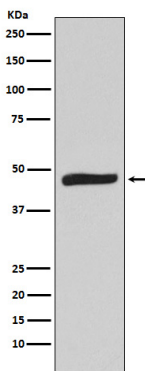
背景

ストレス活性化セリン/スレオニンプロテインキナーゼは、サイトカイン産生、エンドサイトーシス、細胞骨格の再編成、細胞遊走、細胞周期制御、クロマチンリモデリング、DNA 損傷応答、転写制御に関与する。ストレス負荷後、MAP キナーゼ p38- α /MAPK14 によってリン酸化・活性化され、基質のリン酸化を引き起こす。Hyd-X-R-X2-S というペプチド配列中のセリンをリン酸化する。ここで、Hyd は大きな疎水性残基である。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の MAPKAP キナーゼ 2 発現のウェスタン ブロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

